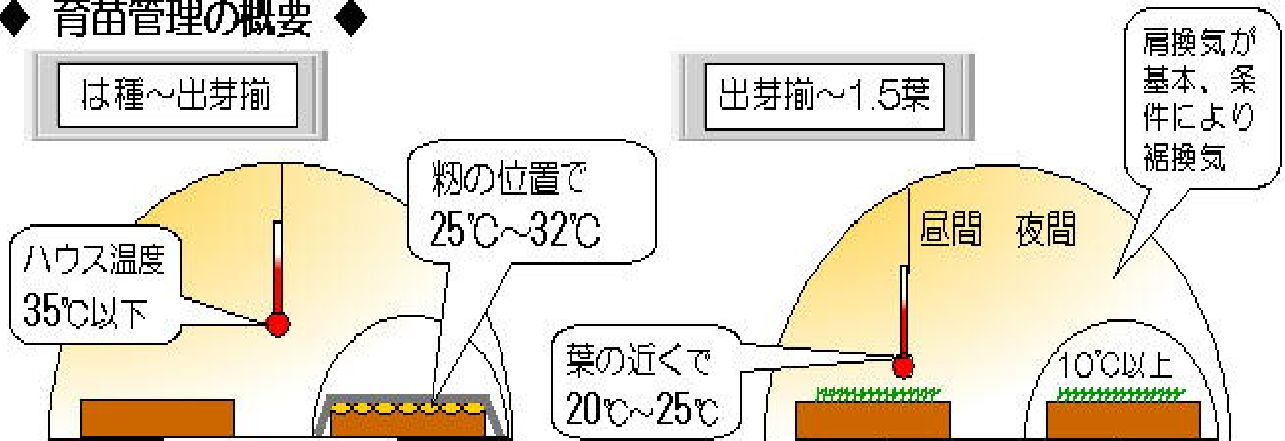


水稲のは種が始まりました。ハウス内の温度管理をしっかり行いましょう。

1 育苗は温度管理が重要

◆ 育苗管理の概要 ◆



ワンポイント

置床の排水が悪く、均一でないと設置不良になりやすく、苗生育が不均一になります。置床を十分に乾燥させ、地温上昇、均一になるように努めましょう。

2 温度管理のポイント

- (1) は種～出芽 : 出芽を揃えるには、二重被覆で温度・適水分を保つようにする
- (2) 出芽～1.5葉 : 全体に出芽したら日中は被覆しない。低温が続き地温が上がらないときは、二重トンネルにして日中も被覆する
- (3) ハウスの開閉 : 晴天日は、夕方でもハウス内温度が高くなっているので、ハウス内温度が下がってから閉める。低温でもハウス内が「くもる」場合は風通しする

3 かん水管理のポイント

夜間の水分過多は、徒長苗・根の発育不良となるので、かん水は床土が乾いたことを確認してから行ってください。

- (1) 目安 : 早朝、葉先に水滴がついていない・日中、葉先がよれて細くなった時
- (2) 方法 : 水分ムラが発生しないよう、床土全体に浸透させる
午前10時頃までに終わらせるようにする
- (3) 判断 : 朝にかん水を行い、夕方には乾いている状態

4 品種間違いをなくしましょう

ハウスに品種名を明示するなどして、品種の間違いをなくしましょう

ストップ! 農作業事故 忙しくても農作業はゆとりをもって